

稲作情報



No.10 「穂肥対応～飽水管理」

J A えちご中越 さんとう営農センター
TEL: 0258 (41) 2887

令和5年 7月21日

注意 コシヒカリの葉色が急激に低下しています!!

葉色を再確認→出穂前の追加穂肥で「後期栄養」を確保しましょう!!

コシヒカリの生育状況 (7月20日調査: 地区別平均値)

地区	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
寺泊	5/7	91.0	501	12.4	34.0
和島	5/11	86.0	429	12.4	32.8
出雲崎	5/5	89.8	386	11.8	32.4
与板	5/13	87.4	400	12.5	34.1
三島	5/10	83.4	387	12.6	32.4
越路	5/12	85.7	474	12.1	33.4
平均	5/10	86.9	436	12.3	33.2
7/20 指標値	5/10	79.0	410	11.9	34.0

7月上中旬も気温の高い気象傾向が続いたことから、水稻の生育が早まっています。コシヒカリの出穂期は、7/30～8/5ころで「平年より3日程度早まる」見込みです。

【管内平均値と指標値の比較】
・草丈：指標値比 110%「長い」
・葉数：指標差 +0.4「早い」
・葉色：指標差 -0.8「淡い」

1回目の穂肥を控えたほ場や一発元肥施肥量の少ないほ場では、葉色が急激に低下し(▲2.8ポイント)栄養凋落による品質低下が懸念されます!!

1. 後期栄養確保対策

出穂前の穂肥施肥で「登熟に必要な栄養分」を補充してあげましょう!!



①7月上中旬の気温の高い気象傾向(平均気温の平年比: +2.1℃)の影響により、水稻の栄養消費(稲体消耗)が大きくなっていること、②穂肥時期の生育(長草・多げつ型)や天候不順により穂肥施肥が控えられていることから急激に葉色低下しています。今後も高温傾向が続く予想で、**栄養凋落～高温障害(白未熟の発生)**による**「品質低下」**が懸念されます!!

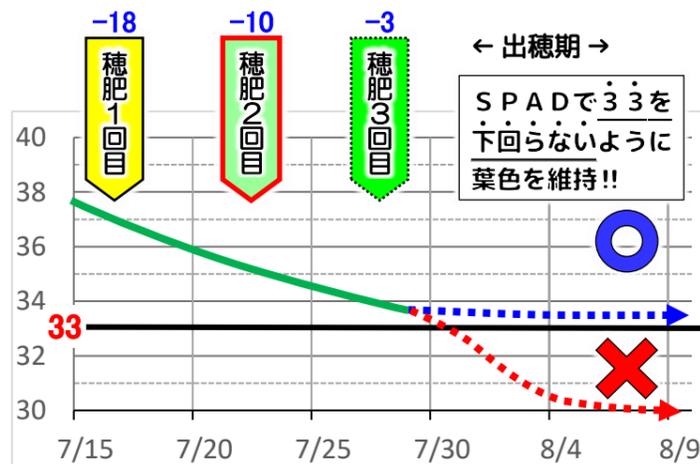
(1) 2回目(出穂前10日頃)の穂肥対応:【分施肥体系】

コシヒカリの2回目(出穂前10日)の穂肥時期を迎えています。栄養不足による品質低下防止のため、**出穂10日前の穂肥を確実に施用して下さい。**(窒素成分: 1～1.5kg 程度/10a)

- *1: 出穂前10日以降の施肥は稈長の伸長=倒伏に影響しませんのでしっかり・確実に施肥します。
- *2: 1回目穂肥が出穂前18日より遅れた場合、1回目穂肥の7日後を目安に2回目を施用します。

(2) 出穂前10日以降の穂肥対応:【全量元肥体系・分施肥体系 共通】*注) 特栽米の施肥量基準

出穂期までに葉色が極端に淡くなる(コシヒカリの場合: SPAD33以下になる)場合には、「出穂の3日前まで」に、生育にあわせて追加穂肥(N成分1kg/10a程度)を施用して下さい。



*コシヒカリの節間はいつのびるの?(出穂前日数)

節位	伸長開始	ピーク	終了
第5節	-29	-26	-20
第4節	-23	-18	-13
第3節	-16	-10	-4
第2節	-6	-1	+3
第1節	-1	+1	+3

倒伏に影響する下位節間(第5節・4節)の伸長は、出穂13日前には終了しています。→**出穂前10日以降の施肥は、倒伏に影響しないので、しっかり施肥してネ!!**

急激な葉色低下に注意!!

出穂期前の「しっかり穂肥」で登熟期間の栄養を確保しましょう!!

2. 病害対策



こまめにほ場を巡回して、いもち病・紋枯病の発生状況を確認してネ!!

(1) いもち病

6月下旬以降、いもち病に感染しやすい気象条件(多湿・湿潤)が続き、「葉いもち感染～穂いもちへの感染拡大」が懸念されます。葉いもちから穂いもちへ感染拡大する時期となりますので**上位葉での発生・病斑を確認したら、ただちに薬剤防除を実施して下さい。**

(2) 紋枯病

高温・多湿の気象傾向が続き、紋枯病の多発生しやすい環境となっています。前年に多発生したほ場や発生しやすい品種では、梅雨明け以降の気温上昇でさらに病状・被害が進展しやすくなります。発病(発病株率: 10%以上)が確認されたら、**薬剤防除(バリダシン剤)を実施して下さい。**

3. 斑点米カメムシ対策

向こう1カ月は「気温が高い気象予想」→カメムシ類の増殖・加害活動が活発となります!!

警戒! アカスジ・オオトゲの確認地点率が高くなっています!!

① 水田内および水田周辺の雑草管理の徹底!!

発生密度の抑制・低減

斑点米カメムシ撲滅運動: 第4弾!!

② 本田防除薬剤の適期散布

出穂の早い五百万石・ゆきみらい等は、まもなく防除適期を迎えます。

適正な水管理で、防除効果を高めましょう!!

無人ヘリ防除の除外区域 = 「粒剤・豆つぶ剤散布区域」では、品種ごと・ほ場ごとの散布適期: 穂揃い期(出穂期の5日後～7日後)に薬剤防除を実施して下さい。

薬剤名	使用量	散布時の水管理
スタークル粒剤	3kg/10a	田面が湿った状態(飽水状態)～深い部分で3cm程度の浅水
スタークル豆つぶ	250g/10a	ほ場全体を3～5cmにしっかり湛水(漏水田等での使用×)

出穂期 40～50% 出穂

出穂期7日後

散布最適期 100% 出穂(穂揃い期)

薬剤散布直後は、降雨による水田水のオーバーフローに注意してネ!

- 薬剤散布時・散布後の作業ポイント
- ① スタークル剤は、降雨により薬剤効果に「ブレ」が生じます。天候が安定している期間に散布して下さい。
 - ② 散布後に少量の降雨が予想される場合は、水尻をしっかり止めてヒタヒタ水の浅水状態で散布して下さい。
 - ③ 散布後4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は「落水やかかけ流しはしない」で下さい。
 - ④ 薬剤散布後も、引き続き「イネ科雑草種子が結実しない間隔」での雑草管理を徹底しましょう!

農作業中の「熱中症」には、十分注意してネ!!

～～営農情報のお問い合わせは、お気軽に最寄りの営農センターへ～～
次回稲作情報: 8月上旬「生育状況、刈り取り適期予想、後期水管理」(予定)

豊かな水で育む「さんとう地区産米」



▶▶ 7月26日(水) ~ 8月23日(水) ◀◀

「飽水管理の徹底実践」強化月間!!

① 水稻は、**出穂前の減数分裂期（出穂12日前）を最大として穂揃い期（出穂7日後）まで、最も養水分を必要とする時期を迎えています。**田面が白く乾きすぎないように『**飽水管理**』を継続・徹底しましょう！

“SDGs な水管理”

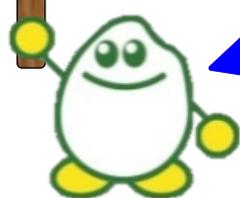
② 水稻の出穂後（登熟期間）に、異常高温やフェーンに遭遇すると玄米品質の低下を招いてしまいます。

地区ごとの「揚水機場運転スケジュール」を確認しながら、『**気象変動に備えた水管理**』（こまめな入水・落水）の徹底に努めましょう!!

“土が潤っている状態”を維持しましょう!



自然に減水して、足跡や溝に水がなくなる前に再び入水します!!



毎週水曜日は…
「水管理巡回 DAY」
です!! → しっかり、
水かけしてネ!!

JAえちご中越 さんとう営農センター ☎0258(41)2887	さんとう北営農センター	☎0258(74)3434
	さんとう営農センター 営農課	☎0258(42)4133
	こしじ営農センター	☎0258(92)5606

